



# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名  **富士ソフト株式会社** 上場取引所 東京証券取引所

コード番号 9749 URL <http://www.fsi.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 晴久  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経財部長 (氏名) 内藤 達也 TEL (045)650-8811(代)  
四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	38,401	-	829	-	794	-	311	-
20年3月期第1四半期	39,339	5.0	1,015	22.6	1,032	28.8	378	8.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	9 23	-
20年3月期第1四半期	10 50	-

(注)平成21年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しているため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	170,668	80,907	41.7	2,133 37
20年3月期	177,461	82,296	41.0	2,148 90

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 71,154百万円 20年3月期 72,740百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	-	10 00	-	15 00	25 00
21年3月期	-	-	-	-	30 00
21年3月期(予想)	-	15 00	-	15 00	-

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	84,000	-	3,500	-	3,500	-	1,350	-	39 88
通期	175,000	2.5	8,500	13.1	8,600	10.8	3,300	51.9	97 49

(注)1. 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

2. 第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しているため、記載しておりません。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
以外の変更 : 無  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                    |             |             |             |             |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 21年3月期第1四半期 | 35,746,329株 | 20年3月期      | 37,546,329株 |
| 期末自己株式数            | 21年3月期第1四半期 | 2,393,303株  | 20年3月期      | 3,696,026株  |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 33,782,875株 | 20年3月期第1四半期 | 36,051,821株 |

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、更なる原油高とそれに伴う原材料価格の高騰により、国内景気は引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き金融業界の活発な事業展開により、証券・銀行・保険などのシステム入替などのシステム開発案件、また、内部統制やIT統制などJ-SOXに関連した開発案件が増加傾向にありました。

しかし、お客様からのシステム開発ニーズは多様化していき、費用が増加していくものの、一方でサービス価格は下落しており、市場の伸びは鈍化しております。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえ、新規事業としてSaaS事業に参入し、SaaSと仮想化技術を組み合わせた「FSSaaSBIS(FSサービス)」の提供を開始いたしました。

また、Google社が企業向けに設計した「Google Apps Premier Edition」に関する代理店販売契約を締結し、同ソフトを当社が提供する「FSSaaSBIS(FSサービス)」のSaaSアプリケーションとして販売開始し、グローバル化に向けた事業展開も行っておりま

した。  
この結果、当第1四半期の売上高は384億1百万円(前年同期比2.4%減)となり、人材登用による人件費の増加等により、販売費及び一般管理費が87億12百万円(前年同期比2.3%増)となったことに伴い、営業利益は8億29百万円(前年同期比18.3%減)、経常利益は7億94百万円(前年同期比23.1%減)となり、四半期純損失は3億11百万円(前年同四半期純利益3億78百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ソフトウェア開発関連事業

組込系につきましては、通信制御系の売上高が減少いたしました。また、業務系につきましては、金融系等が減少いたしました。

この結果、売上高は312億49百万円となりました。営業利益については、10億96百万円となりました。

## アウトソーシング事業

オフィスサービスは、好調に推移いたしましたが、システム保守・運用サービスが減少いたしました。

この結果、売上高は65億9百万円、営業損失は2億74百万円となりました。

## その他事業

人材派遣業等の売上高は6億42百万円、営業利益は7百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

当第1四半期末における総資産は1,706億68百万円(前連結会計年度末差67億92百万円の減少)となりました。その内訳は、流動資産が612億5百万円(前連結会計年度末差80億60百万円減)、固定資産が1,094億62百万円(前連結会計年度末差12億67百万円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金が169億32百万円(前連結会計年度末差46億23百万円減)と、受取手形及び売掛金が288億97百万円(前連結会計年度末差64億6百万円減)となったこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、投資その他の資産のうち、投資有価証券が149億38百万円(前連結会計年度末差18億15百万円増)となったこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期末における負債総額は897億61百万円(前連結会計年度末差54億3百万円減)となりました。その内訳は、流動負債が830億83百万円(前連結会計年度末差56億82百万円減)、固定負債が66億77百万円(前連結会計年度末差2億79百万円増)であります。

流動負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金が95億83百万円(前連結会計年度末差37億16百万円減)と、借入金の返済により短期借入金金が530億8百万円(前連結会計年度末差27億28百万円減)となったこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期末における純資産は809億7百万円(前連結会計年度末差13億89百万円の減少)となりました。

主な変動要因は、自己株式の市場買付による取得及び自己株式の消却等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の41.0%から41.7%になりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、170億43百万円であり、前連結会計年度末に比べ、46億23百万円の減少となりました。

なお、第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、24億50百万円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益7億90百万円、減価償却費14億60百万円の計上及び売上債権の減少62億58百万円による増加と、仕入債務の減少37億16百万円、法人税等の支払額17億84百万円等によるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、28億32百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出5億41百万円、無形固定資産の取得による支出7億8百万円及び投資有価証券の取得による支出17億69百万円等によるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、42億38百万円となりました。

これは、短期借入れによる収入253億円、短期借入金の返済による支出279億27百万円、自己株式の取得による支出7億65百万円及び配当金の支払額6億81百万円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原油価格の高騰により、さらにわが国経済を取り巻く経済環境は厳しい状況となるものと考えられます。

このような経済情勢のもと、当業界におきましては、納期や品質等に対するお客様の要請はより一層強まるとともに高度化・多様化するお客様のニーズが予想されます。

また、組込系事業におきましても、景気の不透明感による各メーカーからの納期・品質の厳守に加え、更なる開発コストの抑制が予想されます。

このような状況の中、当社グループは、「IT業界のリーディングカンパニーを目指す!」を掲げ、高付加価値ビジネスを追求するITソリューションベンダーとして邁進してまいります。

業績予想に関しては、平成20年5月13日公表の「平成20年3月期 決算短信」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 簡便な会計処理

## 1) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## 2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	16,932,906	21,556,770
受取手形及び売掛金	28,897,820	35,304,074
有価証券	1,706,751	1,896,454
商品	631,663	607,666
原材料	6,650	4,373
仕掛品	4,905,152	3,233,305
その他	8,124,695	6,663,069
流動資産合計	61,205,640	69,265,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,710,922	56,515,839
減価償却累計額	12,691,751	12,149,940
建物及び構築物(純額)	44,019,170	44,365,899
土地	29,301,982	29,301,982
建設仮勘定	179,672	63,200
その他	9,961,333	9,878,650
減価償却累計額	5,904,989	5,704,175
その他(純額)	4,056,343	4,174,475
有形固定資産合計	77,557,170	77,905,556
無形固定資産		
のれん	3,193,220	3,477,350
ソフトウェア	6,589,976	6,641,523
その他	805,278	805,935
無形固定資産合計	10,588,476	10,924,810
投資その他の資産	21,317,300	19,365,204
固定資産合計	109,462,947	108,195,571
資産合計	170,668,587	177,461,287

(単位:千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	9,583,421	13,300,072
短期借入金	53,008,591	55,737,461
未払費用	13,481,161	10,701,039
未払法人税等	1,334,409	1,954,260
役員賞与引当金	41,618	219,126
その他	5,633,935	6,854,135
<b>流動負債合計</b>	<b>83,083,136</b>	<b>88,766,094</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	603,800	608,800
退職給付引当金	4,354,797	4,281,942
役員退職慰労金引当金	338,701	383,542
その他	1,380,648	1,123,928
<b>固定負債合計</b>	<b>6,677,947</b>	<b>6,398,213</b>
<b>負債合計</b>	<b>89,761,084</b>	<b>95,164,308</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	26,200,289	26,200,289
資本剰余金	28,438,965	28,438,965
利益剰余金	30,811,218	35,802,405
自己株式	5,339,293	8,566,839
<b>株主資本合計</b>	<b>80,111,179</b>	<b>81,874,820</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	100,017	17,377
繰延ヘッジ損益	5,750	65,240
土地再評価差額金	9,051,263	9,051,263
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>8,956,996</b>	<b>9,133,881</b>
少数株主持分	9,753,320	9,556,039
<b>純資産合計</b>	<b>80,907,503</b>	<b>82,296,979</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>170,668,587</b>	<b>177,461,287</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	38,401,262
売上原価	28,858,501
売上総利益	9,542,760
販売費及び一般管理費	8,712,988
営業利益	829,772
営業外収益	
受取利息	8,630
受取配当金	24,592
受取賃貸料	307,362
その他	151,748
営業外収益合計	492,333
営業外費用	
支払利息	200,983
持分法投資損失	58,604
賃貸料原価	182,935
為替差損	37,274
その他	48,097
営業外費用合計	527,894
経常利益	794,211
特別損失	3,263
税金等調整前四半期純利益	790,948
法人税、住民税及び事業税	1,315,607
法人税等調整額	566,109
法人税等合計	749,497
少数株主利益	353,122
四半期純損失	311,672



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	790,948
減価償却費	1,460,713
のれん償却額	265,094
支払利息	200,983
売上債権の増減額(は増加)	6,258,233
たな卸資産の増減額(は増加)	1,388,072
仕入債務の増減額(は減少)	3,716,650
未払人件費の増加額	2,120,845
未払消費税等の増減額	1,499,911
その他	146,655
小計	4,345,527
利息及び配当金の受取額	93,347
利息の支払額	203,563
法人税等の支払額	1,784,548
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,450,763</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	541,307
無形固定資産の取得による支出	708,709
有価証券の取得による支出	1,798,227
有価証券の売却による収入	1,996,932
投資有価証券の取得による支出	1,769,571
その他	12,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,832,907</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	25,300,000
短期借入金の返済による支出	27,927,600
長期借入金の返済による支出	106,270
自己株式の取得による支出	765,725
配当金の支払額	414,923
少数株主への配当金の支払額	267,002
その他	57,152
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,238,673</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,561
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,623,379
現金及び現金同等物の期首残高	21,667,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,043,908

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	26,200,289	28,438,965	35,802,405	8,566,839	81,874,820
当第1四半期末までの変動額					
剰余金の配当			507,766		507,766
四半期純利益			311,672		311,672
自己株式の取得				944,202	944,202
自己株式の消却(注)			4,171,748	4,171,748	
当第1四半期末までの変動額合計			4,991,187	3,227,546	1,763,641
当第1四半期末残高	26,200,289	28,438,965	30,811,218	5,339,293	80,111,179

(注)平成20年6月30日付けで自己株式を1,800,000株消却いたしました。

## (6) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	ソフトウェア 開発関連事業 (千円)	アウトソーシ ング事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対す る売上高	31,249,608	6,509,158	642,496	38,401,262	-	38,401,262
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,497	15,884	3,051	30,434	(30,434)	-
計	31,261,105	6,525,042	645,548	38,431,697	(30,434)	38,401,262
営業利益又は営業 損失( )	1,096,683	274,697	7,746	829,733	39	829,772

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

## (1) ソフトウェア開発関連事業

通信制御系、機械制御系、基本ソフト系等に関する受託ソフトウェア開発、各業種で使用する業務用アプリケーションの受託ソフトウェア開発、品質評価及び管理支援、コンサルティング、プロダクト開発販売、パーソナルコンピュータ関連機器の設計・製造・販売等

## (2) アウトソーシング事業

システム保守・運用サービス、データエントリー及びヘルプデスクサービス等

## (3) その他の事業

人材派遣業等

## 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(30,434千円)の主なものは、管理部門にかかる費用であります。

## 4 事業区分の変更

従来、「ソフトウェア開発関連事業」「アウトソーシング事業」「ソリューションサービス事業」「その他事業」の4事業に区分しておりましたが、当社グループの「ITソリューションベンダー」としての位置づけから、ソリューションサービス事業自体が各事業区分に紐づいている事業であり、各事業区分に集約することによって、現状の当社グループの組織構造に対応するセグメント情報を提供できること、また、当該事業区分における物品販売の売上割合が減少しており、今後もこの傾向が予想されるため、当第1四半期連結累計期間より「ソフトウェア開発関連事業」「アウトソーシング事業」「その他事業」の3事業に区分することに变更いたしました。この結果、従来の方法と比較して、ソフトウェア開発関連事業の売上高は3,623,244千円増加し、営業利益は585,897千円減少し、アウトソーシング事業の売上高は69,009千円減少し、営業利益は65,087千円増加しております。

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## &lt;参考資料&gt;

## (1) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
売上高	39,339,671
売上原価	29,804,066
売上総利益	9,535,604
販売費及び一般管理費	8,520,366
営業利益	1,015,238
営業外収益	680,749
営業外費用	663,244
経常利益	1,032,743
特別利益	263,707
特別損失	34,883
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,261,567
税金費用	598,400
少数株主利益	284,659
四半期純利益	378,506

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,261,567
減価償却費	1,759,646
のれん償却額	260,959
退職給付引当金の増加額	120,549
売上債権の減少額	5,345,882
たな卸資産の増加額	2,188,832
仕入債務の減少額	1,622,195
未払人件費の増加額	2,330,409
未払消費税等の増減額(は減少)	38,442
その他	1,405,955
小計	5,900,474
利息及び配当金の受取額	133,408
利息の支払額	186,749
法人税等の支払額	2,830,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,016,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,236,655
無形固定資産の取得による支出	1,390,421
有価証券の取得による支出	2,011,457
有価証券の売却による収入	1,995,938
投資有価証券の取得による支出	129,463
その他	182,097
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,589,962

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	23,480,000
短期借入金の返済による支出	22,657,100
長期借入金の返済による支出	544,270
自己株式の取得による支出	1,565
少数株主からの払込による収入	615,125
その他	351,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	540,278
現金及び現金同等物の増加額	966,459
現金及び現金同等物の期首残高	18,378,792
子会社の新規連結による現金および 現金同等物増加額	176,344
子会社の連結除外による現金および 現金同等物減少額	307,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,213,769

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

区分	ソフトウェア開発 関連事業 (千円)	アウトソーシング 事業 (千円)	ソリューションサービ ス 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	27,811,268	7,278,201	3,623,946	626,254	39,339,671		39,339,671
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,223	12,647	8,785	2,136	43,793	(43,793)	
計	27,831,492	7,290,848	3,632,732	628,390	39,383,464	(43,793)	39,339,671
営業費用	26,039,369	7,290,543	4,430,290	608,022	38,368,226	(43,793)	38,324,433
営業利益又は 営業損失( )	1,792,122	304	797,557	20,368	1,015,238		1,015,238

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## (4) 生産、受注及び販売の状況

## a. 生産実績

事業の種類別セグメント	生産高(千円)
ソフトウェア開発関連事業	22,470,073

(注) 1. ソフトウェア開発事業について記載しております。

2. 上記金額には、消費税は含んでおりません。

## b. 受注状況

事業の種類別セグメント	受注高(千円)	受注残高(千円)
ソフトウェア開発関連事業	31,489,678	27,652,321

(注) 1. ソフトウェア開発事業について記載しております。

2. 上記金額には、消費税は含んでおりません。

## c. 販売実績

事業の種類別セグメント	販売高(千円)
ソフトウェア開発関連事業	31,249,608
アウトソーシング事業	6,509,158
その他事業	642,496
合計	38,401,262

(注) 上記金額には、消費税は含んでおりません。